

令和4年度下半期の財政状況を公表します

市条例に基づき、令和4年度下半期(令和4年10月から令和5年3月まで)の財政状況をお知らせします。

今回公表する財政状況は、令和5年3月31日現在のものです。令和4年度分の未収・未払い金を整理する出納整理期間(令和5年4月・5月)の歳入・歳出は含んでいませんので、令和4年度の決算状況とは異なります。令和4年度決算状況は、決算が議会に認定された後、本紙で公表します。

※金額は端数調整し、1万円未満の金額は四捨五入して表記しています

※詳しくは市ホームページで確認してください

問い合わせ 財政課(☎27-2712)



▲市ホームページはこちら

市の予算には、一般会計、特別会計、公営企業会計があります

一般会計

皆さんの暮らしに身近な仕事を行うための、市の基本的な会計です。

特別会計

特定の事業を行う場合や、使い道が決まっている特定の収入(保険料など)によって運営している会計です。

公営企業会計

市が直接運営する事業で、民間企業に準じた経理を行っている会計です。

一般会計・特別会計

会計名	予算額	歳入			歳出			
		収入済額	うち下半期分	執行率	支出済額	うち下半期分	執行率	
一般会計	847億9,968万円	764億8,688万円	421億1,537万円	90.2%	738億363万円	401億9,014万円	87.0%	
特別会計	小型自動車競走事業費	260億1,362万円	247億5,495万円	102億8,604万円	95.2%	242億8,756万円	113億5,174万円	93.4%
	学校給食センター事業費	21億5,091万円	20億6,005万円	11億8,510万円	95.8%	19億7,177万円	11億3,363万円	91.7%
	国民健康保険	203億9,105万円	197億2,109万円	112億842万円	96.7%	190億9,436万円	118億5,420万円	93.6%
	後期高齢者医療	26億2,472万円	26億1,528万円	16億4,731万円	99.6%	23億7,607万円	15億9,682万円	90.5%
	介護保険	180億7,031万円	175億4,818万円	87億5,844万円	97.1%	156億760万円	86億985万円	86.4%

公営企業会計

会計名	勘定区分	収入予算額	収入済額		執行率	支出予算額	支出済額		執行率
			収入済額	うち下半期分			支出済額	うち下半期分	
水道事業	収益的収入および支出	43億8,608万円	44億45万円	22億3,109万円	100.3%	40億45万円	37億5,493万円	16億9,789万円	93.9%
	資本的収入および支出	14億5,762万円	11億5,163万円	11億3,123万円	79.0%	35億5,281万円	30億3,639万円	4億8,238万円	85.5%
公共下水道事業	収益的収入および支出	24億3,167万円	27億1,552万円	11億7,964万円	111.7%	27億1,094万円	24億8,335万円	11億113万円	91.6%
	資本的収入および支出	21億5,944万円	18億1,788万円	9億7,307万円	84.2%	32億1,976万円	27億9,512万円	5億4,920万円	86.8%
農業集落排水事業	収益的収入および支出	3億9,820万円	4億1,143万円	9,791万円	103.3%	4億288万円	3億6,098万円	1億7,371万円	89.6%
	資本的収入および支出	2億1,608万円	2億1,427万円	1億4,796万円	99.2%	3億2,741万円	3億2,429万円	1億5,873万円	99.0%
特定地域生活排水処理事業	収益的収入および支出	1,413万円	1,368万円	353万円	96.8%	1,486万円	1,258万円	480万円	84.7%
	資本的収入および支出	1,538万円	633万円	417万円	41.2%	1,822万円	962万円	454万円	52.8%
病院事業	収益的収入および支出	186億5,297万円	180億4,320万円	99億5,316万円	96.7%	183億240万円	173億497万円	100億3,515万円	94.6%
	資本的収入および支出	8億6,907万円	8億1,906万円	4億9,234万円	94.2%	16億966万円	15億3,875万円	7億1,821万円	95.6%

※収益的収入および支出=企業の経営活動に伴い発生する収支

※資本的収入および支出=企業の将来の経営活動に備えて行う建設・整備などに伴い発生する収支



石原さんは大正15年、旧境町(佐波郡剛志村)の養蚕農家の長男として生まれました。本来であれば農家を引き継ぐところ、進学を選び、受験や戦時下の学徒動員など、さまざまな困難を乗り越えて、東京大学法学部に入学しました。卒業後は、旧地方自治庁(現総務省)に入庁すると、自治省財政局長、事務次官などを歴任し、地方自治の発展のため、常に国民の立場に立って政策を考える官僚として奔走されました。

昭和62年に竹下登内閣の官房副長官に就任すると、以後約7年3カ月にわたり7人の

昭和62年に竹下登内閣の官房副長官に就任すると、以後約7年3カ月にわたり7人の

石原さんは大正15年、旧境町(佐波郡剛志村)の養蚕農家の長男として生まれました。本来であれば農家を引き継ぐところ、進学を選び、受験や戦時下の学徒動員など、さまざまな困難を乗り越えて、東京大学法学部に入学しました。卒業後は、旧地方自治庁(現総務省)に入庁すると、自治省財政局長、事務次官などを歴任し、地方自治の発展のため、常に国民の立場に立って政策を考える官僚として奔走されました。

伊勢崎市名誉市民 石原信雄さんをしのぶ

名誉市民は、市民または本市にゆかりがあり、社会の進展や学術文化の振興、本市の発展に卓越した功績を残し、本市の名声を広め、市民から郷土の誇りとして尊敬される人に対し、その功績をたたえ、市民敬愛の対象として顕彰するために贈られる称号です。合併(平成17年1月)前の旧伊勢崎市の名誉市民と旧境町の名誉町民は、新市の名誉市民として継承されました。



合併協議会の会議で、他の自治体の事例や国の動き、合併に際しての首長や関係者の心構え、まちづくりの計画など、大所高所から合併のあり方について助言をする石原信雄さん

石原信雄さんをしのんで

伊勢崎市名誉市民である石原信雄様が1月29日にご逝去されました。これまでのご尽力に敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

石原様には、平成17年の伊勢崎市、赤堀町、東村、境町の合併に際し、合併協議会の顧問として合併までの道程を見守っていただきました。会議では「首長や議員は合併を成功させる決意を持っている必要があります。相手のあら探しをせず、相手の立場で考え、困難な問題が出てきたら首長が責任を持って決断をしてください」と機会あるごとに発言され、合併を成功に導き、新市誕生に大きなご功績を残されました。

私は、4月19日に東京で行われた『石原信雄お別れの会』に参列してまいりました。開式前にご家族とお会いし、伊勢崎市民の代表として弔意を伝えるとともに、これまで本市にいただいたご指導に対し、感謝を申し上げることができました。会場に訪れていた政治や行政、経済界のそうそうたる皆様を見ますと、石原様が国の中枢で、いかに幅広く活動され信頼を得られていたのかを改めて実感いたしました。

また、令和3年1月の伊勢崎市長選挙を終えた後

伊勢崎市長 臂 泰雄

このことですが、石原様の事務所を訪問いたしました。石原様は、それまでわずかな面識しかない私に対しても、選挙で掲げたマニフェストや今後の市政運営について、気さくにお話をしてくださいました。加えて、市町村合併から17年がたってもなかなか一体性が確保されないもどかしさを話したところ「この地域は、地勢的にも社会的にも恵まれた地域であり、とにかく条件の良い合併でした。自然に一体感が醸成されるはずですから、市民の皆様が合併して本当に良かったと実感できるような街を焦らずにつくってください」と励ましていただきました。泰然自若として自信に満ちたお言葉に石原様の度量の大きさと郷土を愛する心根を感じ、敬服いたしました。

これからは石原様に、本市のさまざまな取り組みを見ていただき、ご意見をいただくことはできませんが、熱い思いと教えを忘れることなく、変化する社会を直視し、持続可能な地方都市伊勢崎の実現を目指すことをお誓いいたします。

伊勢崎市に生を受け、日本国を背負って生き抜かれた石原信雄様の面影をしのびつつ、市民の皆様と共にご冥福をお祈りいたします。